

令和4年度同行援護従業者養成研修(応用課程)

受講にあたって

同行援護サービスの質を担保するために実習（実技）は必須であり、実施可能な感染防止策を講じた上で今回研修を実施します。しかし万が一感染者が出た場合、他の受講者も濃厚接触者になる可能性は避けられません。受講のリスクと実習内容・当センターの感染対策を予めご確認いただき、この状況下でも受講が必要かどうかは各自判断の上ご参加ください。

また感染症対策を実効性あるものにするには参加者全員のご協力が欠かせません。何卒よろしくご願いたします。

研修全般の感染症対策		受講者が準備するもの等
装備	<ul style="list-style-type: none"> * 講義・実習ともマスク(不織布が原則) 着用 * 長机に1名着席(原則)。屋内の実技で必要な際はフェースシールドを着用して行う。 	不織布マスク (アレルギーのある方は不織布に限らず) ※フェイスシールドは配布
消毒	<ul style="list-style-type: none"> * 実習で全員が順次接触する個所(例：自動販売機)は、事務局が接触前後に消毒を行う。 * 各実技前後に受講者は携帯スプレーで手指消毒を徹底する。 * 手洗いの励行 	携帯用消毒スプレー(業務用アルコール：商品名アルポナース)は全員へ配布しますが、アレルギー等で使用できない方は、代替品を各自ご用意ください。
換気	<ul style="list-style-type: none"> * 概ね30分に1回程度行う。 * 常時開放できるところは開放する。 	温度調整ができる服装、防寒の準備
健康チェック	<ul style="list-style-type: none"> * 受講決定時送付した健康チェック票を初日に提出 * 参加者全員が研修期間中は家族も含め毎日検温等健康観察を行う。 	事前連絡事項に該当する場合、必ず担当者へ ご相談下さい。感染の恐れ・可能性がある場合は受講をお断りする場合があります。予めご了承ください。
昼食	<ul style="list-style-type: none"> * 黙食の徹底。食後はすぐマスク着用 	弁当の斡旋はありません。 各自でご用意ください。

実習内容と感染症対策		受講者が準備するもの
実技	会場内外での実技(手引き等) <ul style="list-style-type: none"> * ペアの組替は1日1回程度とする。 	【服装】 長袖またはアームカバー 着用(直接肌が触れ合わないようなもの) 歩きやすい靴、両手が使える靴 、必要なら手袋も使用可 天候によっては 防寒具・雨具 も準備。
乗降訓練 買物体験	路線バス乗車・電車乗降訓練(2日目) <ul style="list-style-type: none"> * 消毒スプレーを各自携帯し、こまめに各自が手指消毒する。 * 受講者を減らし最大でも1チーム8名12名プラス講師2名、事務局1~2名体制で行う。(赤次部分10/31訂正) 	バス運賃として小銭またはバスカード スーパー等の買物代金